

## 移動等円滑化取組計画書（令和元年度）

### I 現状の課題及び中期的な対応方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社が保有する乗合バス車両において、2018年度末時点のノンステップバスの導入率は20.8%にとどまっている（適用除外車両を除く）。こうした現状を踏まえて、車両の更新と併せてノンステップバスの導入を推進し、2020年度末までに、導入率を29.0%以上とする。</li> <li>・高齢者の心を推察する力を養うことや介護者として、自分なりのノウハウを見つけるきっかけ作りのため高齢者疑似体験を実施する。</li> <li>・札幌市は、円山バスターミナル及び、西28丁目バスターミナルのトイレ等がバリアフリー未対応となっているため、計画的に各施設のバリアフリー化を図る。（札幌市の計画）</li> </ul>
--

### II 移動等円滑化に関する措置

#### ① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	ノンステップバスを33両導入する。(2019～2020年度)
円山バスターミナル	札幌市は、改築に向けた検討を行う。(2019～2020年度札幌市の計画) 当社は、札幌市と調整を行う。

#### ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
視覚障害者誘導用ブロックの設置	札幌市は、円山バスターミナルの改築に向けた検討にあわせて改築後のターミナルに視覚障害者誘導用ブロック設置の検討を行う。(札幌市の計画) 当社は、札幌市と調整を行う。

#### ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
運賃表示機の取替	全車両を対象にお客様が見やすくわかりやすい液晶型の運賃表示機へ取替を行う。(2018年度～2019年度)
筆談具の搭載	乗車券等の販売窓口への設置及び車両に筆談具を搭載する。

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
高齢者、障害者へのサポート意識の醸成	社員を対象とした高齢者疑似体験を実施する。(2019年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

社内で次年度以降の教育訓練等の方針策定の検討材料とする。
------------------------------

Ⅳ 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

Ⅴ その他計画に関連する事項

--

注1 Ⅳには、Ⅱについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Ⅴには、Ⅱの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。